

2020年2月17日

各位

ADK マーケティング・ソリューションズ、radiko オーディオアド接触ユーザーの 店舗来店を計測し、来店誘導の効果を実証

株式会社ADK マーケティング・ソリューションズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:植野伸一、以下ADK MS)は、株式会社松屋フーズホールディングスの協力によって、radiko(ラジコ)の音声によるターゲティング広告「radiko オーディオアド」に接触したユーザーが松屋の店舗に来店したかどうかを、位置情報を用いて計測する効果検証を行いました。



効果検証の結果、当該期間中に配信された radiko オーディオアドに接触したユーザーの、1週間以内の来店率が12%であると推定できました。これにより、同業種のバナー広告の過去事例と比較しても、効果的であることが判明しました。

ラジオ番組をパソコンやスマートフォン、スマートスピーカーで聴けるサービス、radiko では2018年7月から、radiko オーディオアドの実証実験を開始。地上波ラジオでは、一つの広告枠は誰に対しても同じ広告を発信する「一斉同報広告」であるのに対し、radiko オーディオアドでは、ユーザーの属性・嗜好性に合った広告を、それぞれ個別に差し替えて配信しています。

ADK MS が携わった今回の効果検証により、radiko オーディオアドが広告主のブランドイメージ醸成のみならず、来店誘導にも寄与することが実証できました。



なお、ADK MS においては、radiko、Spotify など音声コンテンツを対象とした「ADK-PMP (Audio Package)」の提供を2019年12月に開始しております。「ADK-PMP」シリーズは、国内の優良広告媒体を対象としたADKオリジナルのプライベート・マーケットプレイスで、Audio Packageをはじめ、複数のラインナップがございます。

「ADK-PMP」では、ADK MS の関連会社である株式会社 Data Chemistry が保有するパブリックDMP『DC Catalyzer』によるWEB上での行動データや、テレビ視聴ログデータ*等も合わせて活用

することで、ADK MS 独自のターゲティングで音声広告を配信することができ、より精度の高いターゲティングを可能にしています。

ADK MS は今後も、消費者行動の知見を蓄積しながら、音声コンテンツを始めとした、消費者とブランドの接点における魅力的な体験を提供してまいります。

*テレビメーカーより提供されるログデータ

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ
メディアビジネスセンター ラジオビジネス局 片桐/工藤
メディアビジネスアドバンス局 大川/仲
株式会社 ADK ホールディングス
社長室 広報グループ 平尾/丸山
TEL:03-6830-3855 e-mail:adkpr@adk.jp